

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 3年 1月 7日更新

事務事業名		農業者年金事務事業				<input type="checkbox"/> マネジメント関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	農業委員会	課長名	衛藤 文明
	施策	26	農業の振興			所属課	農業委員会	担当者名	坂本 晃一
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化			所属班	農地班	(内線)	5232
予算科目	会計一般	款 6	項 1	目 2	事業連番 10292	根拠法令	農業者年金基金法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	農業者の老後の生活安定と福祉の向上を図るため、農業者年金への加入を推進する。併せて、年金受給資格取得喪失等の関係事務を行なう。 背景として、年金財政破綻の危機により、平成14年法改正、現役世代(加入者)の保険料で賄う賦課方式から、加入者自ら積み立てる積立方式に改められた。
【業務の流れ】	年金加入関係書類の審査・進達、加入者の受給手続き、受給者資格審査・資格変更の進達未加入者加入促進
【主な予算費目】	諸収入(農業者年金業務委託手数料)、時間外手当、旅費、需用費、役員費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	今後の農業情勢の不安定化が懸念され、また、国民年金保険料等も上がっていくことが予想され、今後保険料を払っているか心配であり、加入について踏み切れないとの意見あり。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	農業者年金受給者、加入者、農業者年金受給待機者の諸手続き、若手農業者への加入促進、農業者年金受給予定者への説明会を実施した。 【基準に達しなかった理由】 年度末に予定していた委員による農業者年金加入推進活動(戸別訪問)について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止せざるを得なくなったことにより、費用弁償に執行残が生じたことになったため。	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 農業者年金受給者、加入者、農業者年金受給待機者の諸手続き、加入促進
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人 ア: 農業従事者数 → イ:	予算の主な増減の理由 前年度実績による費用弁償の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	国民年金1号被保険者で、年間60日以上農業に従事するもの、農業者年金受給者、農業者年金加入者、農業者年金受給待機者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 ア: 加入推進対象者数 → イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	農業者の老後の安定	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 人 ア: 新規農業者年金加入数 → イ:
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠 農業情勢を考慮し、新規目標加入者数を設定		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込	
① 活動指標	ア 人		1,142	1,004	1,000	1,004	1,000	1,000	1,000	900	
	イ										
② 対象指標	ア 人		40	40	40	40	40	40	40	40	
	イ										
③ 成果指標	ア 人		0	3	1	6	1	1	1	1	
	イ										
投資 入費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	134	138	365	114	283	350	350	350
		(A) 事業費計	千円	134	138	365	114	283	350	350	350
		(A)のうち指定経費	千円	17	3	5	0	4	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	17	3	5	0	4	0	0	0	
		正規職員従事人数	人	4	4	4	4	2	2	2	2
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	408	408	370	257	370	370	0	0	
	(B) 人件費計	千円	1,614	1,608	1,474	1,018	1,474	1,474	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,748	1,746	1,839	1,132	1,757	1,824	350	350	

事務事業名	農業者年金事務事業	所属部	農業委員会	所属課	農業委員会
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 H31年度は6名の新規加入者を獲得できた。
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 農業従事者数は減少傾向にあるが、裁定でも1人は確保したい。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 農業者年金制度の更なる周知徹底を行えば加入者の増加が見込める
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 農業者年金基金法に基づく事務手続きであり、類似事業は無い。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は、農業者年金基金の事務委を行うための必要最小限の予算であり、これ以上の削減は困難である。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 課員で最小の事務を行っており、削減の余地は無い。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 農業者年金基金法に基づく事業であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 農業者年金基金法に基づく事務手続きであり、移行できない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

農業委員・農地利用最適化推進委員を中心に、農業者への加入推進を図る必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						